



京浜港湾事務所

工事名 横浜港大黒地区岸壁(-12m) (改良) 上部工撤去工事
 工期 令和元年 7月 3日 ~ 令和 2年 3月13日
 施工会社 東洋建設株式会社 横浜支店
 工事内容 岸壁改良 (水深12m) のため、既設岸壁 (水深7.5m) の撤去を行います。

●本工事の施工記録



令和元年8月



令和元年12月



令和2年2月

●進捗状況・お知らせ

本工事は今月で竣工となります。近隣の皆様にはおかれましては、工事へのご理解とご協力をありがとうございました。竣工後も岸壁が撤去された状態で開口部があり、危険ですので、引き続き、緑地側フェンスからは現場へ絶対に立ち入らないようにして下さい。

本工事は現在まで無事故無災害で進んでおります。最後まで気を引き締めて、無事故無災害を必ず達成したいと思えます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



横浜港大黒ふ頭地区再編改良事業



年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
岸壁(水深12m) (改良)		本工事				
航路・泊地(水深12m)						
泊地(水深12m)						



横浜港大黒地区岸壁(-12m)(改良)上部工撤去工事

施工状況



コンクリート取壊し
(2月完了)

仮囲い撤去、ガードレール設置作業
(3月作業)

上部コンクリート撤去
(2月完了)

上部コンクリート撤去

海側の杭が付いた巨大な梁ブロックは400t吊起重機船で撤去しました。ブロックは1つ当たり、60t(普通自動車40台分)ほどの重さがあります。



400t吊起重機船
(M-58号)

撤去ブロック(60t)

起重機船の操縦席からの光景です。船長はクレーン操作をしながら、船員に操船の指示を出します。



横浜港大黒地区岸壁(-12m)(改良)上部工撤去工事
工種 撤去工 期 3/27
梁撤去状況

コンクリート取壊し

撤去したブロックを①ブレイカー、②マグネットコア、③自走式破砕機で徐々に細かく砕石状になるまで破砕します。

①ブレイカー



横浜港大黒地区岸壁(-12m)改良)上部工撤去工事
工種 撤去工 期 3/27 取壊しヤード
構構式上部工撤去
上部コンクリート撤去
コンクリート取壊し
一次破砕
ブレイカー破砕状況

②マグネットコア



横浜港大黒地区岸壁(-12m)改良)上部工撤去工事
工種 撤去工 期 3/27 取壊しヤード
構構式上部工撤去
上部コンクリート撤去
コンクリート取壊し
一次破砕
マグネットコア破砕状況

③自走式破砕機
(ガラパゴス)



横浜港大黒地区岸壁(-12m)改良)上部工撤去工事
工種 撤去工 期 3/27 取壊しヤード
構構式上部工撤去
上部コンクリート撤去
コンクリート取壊し
二次破砕状況
ガラパゴス処理状況

横浜港大黒地区岸壁(-12m)(改良)上部工撤去工事

安全な現場への取り組み

工事全体を通して安全に気を配った点を2点ピックアップしました。



葦簀(よしず)の休憩所



葦簀による日よけ

災害事例などの注意喚起掲示物

葦簀の休憩所は、真夏日には熱中症対策になりました。休憩時は皆で談笑、情報共有をし、健全に仕事に臨めました。注意喚起の掲示物もこまめに目を通すことで、気を引き締めて作業を行うことができました。

転落防止手摺



各開口部には必ず手摺を設置し、海中転落災害の防止に努めました。整然と並んだ手摺の効果で、周囲の整理整頓も徹底するようになりました。

粉塵飛散防止への取り組み

コンクリート取壊し時の粉塵飛散防止には特に力を入れました。



仮設テント設置と散水者の配置



自動散水装置



粉塵計による粉塵飛散量計測



仮設テントによる粉塵の飛散防止を行いました。加えて、粉塵が発生する作業には必ず散水者か、自動散水装置を配置しました。また粉塵計により、粉塵が飛散されているかどうかを定量的に判断しました。



引き続き安全を最優先し、無事故・無災害で竣工できるように、工事を進めていきます。